

平成 21 年度第 1 回学術情報ネットワーク運営・連携本部会議議事要旨

1. 日 時 平成 21 年 5 月 22 日（金）13：30～15：30

2. 場 所 国立情報学研究所 22 階会議室

4. 議事内容

(1) 委員の紹介

坂内本部長から、資料 1 に基づき、委員の紹介が行われた。

(2) 学術情報基盤の整備について

坂内本部長から、資料 3 に基づき、説明があった。急激なネットワーク需要拡大への対応、上位レイヤ機能の実現、先端学術基盤格差の解消といった課題に対するソリューションとして、先進的なネットワーク設計、持続的な整備基盤の確立、大学等による連携の発展・強化（共同調達による持ち寄り型連携の推進）が示された。

(3) 作業部会について

坂内本部長及び安達委員から、資料 4 に基づき、運営・連携本部配下の各作業部会の今後の方向性について説明があった。各作業部会主査について、次のとおりとすることが承認された。

- ・ネットワーク作業部会：山田委員
- ・認証作業部会：岡部委員
- ・グリッド作業部会：青柳委員
- ・セキュリティポリシー推進部会：曾根委員
- ・企画作業部会：安達委員

(4) 10GbE インタフェースの要望対応について

事務局から、資料 5-1 及び資料 5-2 に基づき、10GbE インタフェースおよび回線増速の要望対応（案）について、説明があった。「学術情報基盤整備に関する対応方策について（審議のまとめ）」（平成 20 年 12 月、文部科学省 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会）を踏まえ、当該機関に対して応分の負担を求めることを条件に対応することで了承された。

(5) UPKI 認証フェデレーション試行運用実施要領について

岡部委員から、資料 6 に基づき、UPKI 認証フェデレーション試行運用実施要領案について説明があり、原案どおり了承された。また、UPKI 認証フェデレーションで実現するシングルサインオンについてデモがあった。

(6) 次期学術情報ネットワーク（SINET4）の検討状況について

山田委員から、資料 7 に基づき、次期学術情報ネットワーク（SINET4）の構成について説明があり、今後は、作業部会等で詳細を詰めていくこととした。

(7) 「学術情報基盤オープンフォーラム」の開催について

坂内本部長から、資料 8 に基づき、学術情報基盤の諸課題に、大学等と連携して取り組むための枠組みとして、「学術情報基盤オープンフォーラム」を 6 月 12 日に発足する旨の説明があった。活動の一つとして、アクセス系回線の共同調達の枠組みを形成し、価格決定権とクオリティの確保を図っていく旨の発言があった。

(8) 認証作業部会報告

岡部委員から、資料 9 に基づき、平成 20 年度の認証作業部会の開催状況について、報告があった。

(9) その他

- ・喜連川委員から、学術情報ネットワークの重要性を声にしていくためには、各所方面の理解を得る努力が必要であり、構成員全員が団結して取り組む必要がある旨、また、予算状況が厳しい中で、情報基盤や ICT の有効な活用は限界突破の可能性を持つことから、基盤センターや情報基盤アライアンスはますます重要となる旨、発言があった。
- ・小山委員から、先端学術基盤格差の解消に関して、地方の研究者でも大差のない環境で情報発信できることに大いに期待を寄せる旨、発言があった。

－ 以上 －